

(別表2)

事業所名 ニッケととて市川

目標達成計画

作成日: 令和4年9月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ渦において、家族様・地域等に透明性が不十分である。運営推進会議等も対面式以外の方法を検討しているが、WEB上での対応も出ていない。	ネットワークを構築すると共に、WEB上での運営推進会議などを行う。	本社と連携・協力を行い、透明性(開かれた)グループホーム運営を行う。	6ヶ月
2		法定研修等は開催できているが、グループホームにおいてより入居者に即した研修の実施を行うと共に、家庭事情等で参加できない職員にも研修の場を提供できるようにしたい。	全職員が共有した「想い」を持てる研修システムを構築する。 ネットワークの活用なども検討	研修については、年間計画及び各会議等を活用し実施すると共に、不参加者への研修体制をネット環境等の活用を本社と連携し構築する。	6ヶ月
3		法定人員は配置しているが、研修参加等では人員不足がある。	外部研修等にも参加できる人員配置の検討及び同グループ内での研修体制を構築する。	グループ内で開催可能な研修等を検討及びWEB等を活用する	12ヶ月
4		マニュアル等を整理されているが、現場に即していないものがある	現場マニュアルとして活用できるものにブラッシュアップを行う。	グループ内でグループホーム間でグループホーム会議の開催を行う、順次見直しを行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。